

平成31年3月5日

足立区立第十一中学校  
学校長 星 貞年 様

足立区立第十一中学校 開かれた学校づくり協議会  
会長 大神田 邦夫

## 平成30年度 学校関係者評価書

### 1. 自己評価書全般について

今年度の重点的な取組事項の達成度は、「十分に達成」、「おおむね達成」の評価がされており、年度初めに掲げた取組みによって成果目標が達成できたことは評価できる。

重点的な取組事項-1「学力向上を図るための取組みの充実」では、区学力調査において、3科校内全体の平均通過率、平均正答率ともに、区平均通過率、区平均正答率を上回っており、学校が組織的に学力向上アクションプランを実践したことが、成果として結びついていることが分かる。特に、昨年度、課題として挙げられた家庭学習ノートの提出率は、昨年度に比べ約10ポイント上昇しており、家庭学習ノートを活用した家庭学習の取組みが、家庭学習習慣の定着につながり、その成果が学力向上に結び付いたことがうかがえる。学年によって、提出率に差があるのは気になる。提出率80%の達成に向けた取組みをさらに実施していただきたい。

重点的な取組事項-2、3においても自己評価書に記載されているとおり、学力向上だけでなく、生徒が身に付けるべき資質・能力を育成するために、校長が掲げる「チェンジ&チャレンジの姿勢で活動する生徒の育成」をチーム十一中で取組んでいただきたい。また、今年度の成果と課題を踏まえ、次年度に向けて課題解決に取り組んでいただきたい。

### 2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

学校評価アンケートで、「ボランティアや地域行事に参加している」の肯定的回答が昨年度に引き続き、他の項目に比べて低く、課題として挙げられている。開かれた学校づくり協議会委員によるアンケートの「地域では、子供たちを健全に育成する体制が整っている」の肯定的回答は75%であるが、否定的回答も25%であることから、地域でも、中学生が参加できるイベント等を模索していく必要がある。また、開かれた学校づくり協議会委員の授業参観については、学校評価アンケートの授業に関する評価項目にもあるので、参加していきたい。

### 3. その他

部活動では、今年度も全国大会、関東大会、都大会へ出場する部もあり、十一中学校として誇れる活躍が見られた。様々な教育活動に対する先生方の日々の指導に感謝する。

家庭教育部会から、来年度、夕焼け教室の実施が難しいとの報告があった。継続に向けて検討していく。本協議会は、学校を支え、支援する会であり、これからも生徒のために、学校と連携し、支援していきたいと考えている。